

平成30年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

1 学校の概要

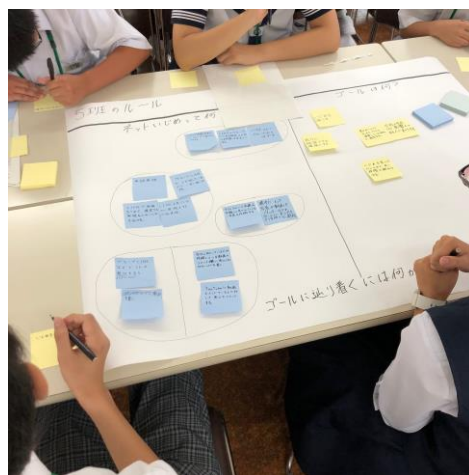
- (1) 学校名 埼玉県立所沢高等学校
- (2) 学級数 27 (平成30年5月1日付け)
- (3) 生徒数 1093 (同上)
- (4) 教職員数 87 (同上)

2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

(1) 取組内容 (決定までのプロセス)

以前から、本校の生徒会本部では“スマホ活用プロジェクト”として、生徒のスマートフォンの適切な利用に向けて活動していた経緯がある。

今年度は、8月に行われた「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」合同ワークショップへ参加し、自分たちのネット利用について振り返り、どのようなルールを設定すればよいのかを協働的に考える機会を得た。また、ワークショップ形式によるネット利用に関するルール作りの手法を学んだ。その後、校内でネット利用のルールを、生徒会通信などを通して募集し、本校におけるルールを考える機会を作った。



合同ワークショップの様子

(2) 全校への周知の方法

以前から発行している生徒会本部通信や、今回のアンバサダーを担当した、生徒会本部のメンバーによる“スマホ活用プロジェクト”発行の通信を利用して全校への周知を行った。

(3) 私たちのネット利用ルール

- ・ネットいじめやトラブルを防ぐために、写真を撮るときやネット上にあげるときは許可を取る
- ・スマートフォンは1日の利用時間を決めて使う

3 活動推進校独自の取組 (広報活動) について

(1) 活動内容

近隣中学校で、ネット利用に関して考えるワークショップを協同で企画・実施した。企画の際には校内で有志を募集し、合同ワークショップで学んだ、ルールづくり活動をファシリテートする際の留意点を共有した。実施後、中学生から「ネットいじめの怖さについて考えることができた。自分だけでなく友達も巻き込まれないように、注意していきたい。」といった感想が出た。また、中学生のファシリテーター役となった本校生徒も「こういった経験は初めてなので、勉強になった。中学生が予想外にスマートフォンを持っていてびっくりした。」と話し、ネット利用ルールづくりの意義を実感したようであった。

(2) 実施期間

企画立案・有志募集 11月12日～11月22日
ワークショップ本番 11月27日

近隣中学校におけるワークショップの様子



(3) その他

ファシリテーター役の経験は、自分自身もネット利用について深く考えるきっかけとなったようである。中学生から質問を受けた際にも、スマホを使い慣れ、かつ年齢の近い立場から助言をしていた。自分たちの経験に基づいて助言するため、使い方を振り返る機会にもなったようである。また、普段生徒会本部の“スマホ活用プロジェクト”のメンバーとして活動していない有志が多く集まったことは、本ルールづくり活動において意義が大きかった。ネット利用についてたくさんの生徒が主体的に考え、行動に移すことが大事であり、自ら応募して活動に加わった生徒からネット利用について考え行動する空気が徐々に出来上がった。

4 活動の成果と課題

(1) 成果

ネットの利用やスマートフォンの利用について、誰かから押し付けられたルールではなく、自分たちで「なぜそのようなルールが必要なのか」を考え、実際にルールを設定し、広報活動を行うことで、自分たちのネットやスマートフォンの利用状況を見直す機会となった。また、合同ワークショップ後の近隣中学校における広報活動では、自分たちがファシリテーター役となり、中学生と一緒に考えることで、より深くネット利用について省察できたようである。さらに、充実した活動があまりできていなかった“スマホ活用プロジェクト”が、本活動を通して、活発化されたことも成果として挙げられる。

(2) 課題

本活動を通して、合同ワークショップと中学校におけるワークショップに参加した生徒は、自分たちのネット利用について振り返り、ルールを設定することを通して適切なネット利用の方法を考えることができた。一方で、全校生徒が自分たちのネット利用について、また適切なネットの利用方法について考えることができたかという点、必ずしもそうではない。本校独自のネット利用ルールについて、通信等を通じて募集等を行ったが、一部の生徒しか通信をよく読んでいなかったことが分かった。今後、さらに多くの本校生徒が自分たちのネット利用について振り返り、考える機会を作っていく必要がある。